

2022年6月期 決算説明

株式会社エンビプロ・ホールディングス
(証券コード : 5698)

2022年 8月24日

目次

1. 2022年6月期 決算概要

2. 2023年6月期 見通し

3. 配当方針

4. 中期経営計画

5. 参考資料

連結業績

売上高	57,319百万円	(前期比	40.0%増)
営業利益	3,343百万円	(前期比	56.9%増)
経常利益	4,166百万円	(前期比	66.1%増)
税金等調整前当期純利益	4,176百万円	(前期比	98.7%増)
当期純利益*	3,111百万円	(前期比	108.6%増)

業績予想の前提条件

	鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
実際	55,520円/ t	1,181円/kg	6,956円/g	90,329円/kg	3,033円/kg	8,382円/kg	117円/USD
作成時の予想	50,000円/ t	1,000円/kg	6,000円/g	85,000円/kg	1,800円/kg	4,650円/kg	105円/USD

主要TOPICS

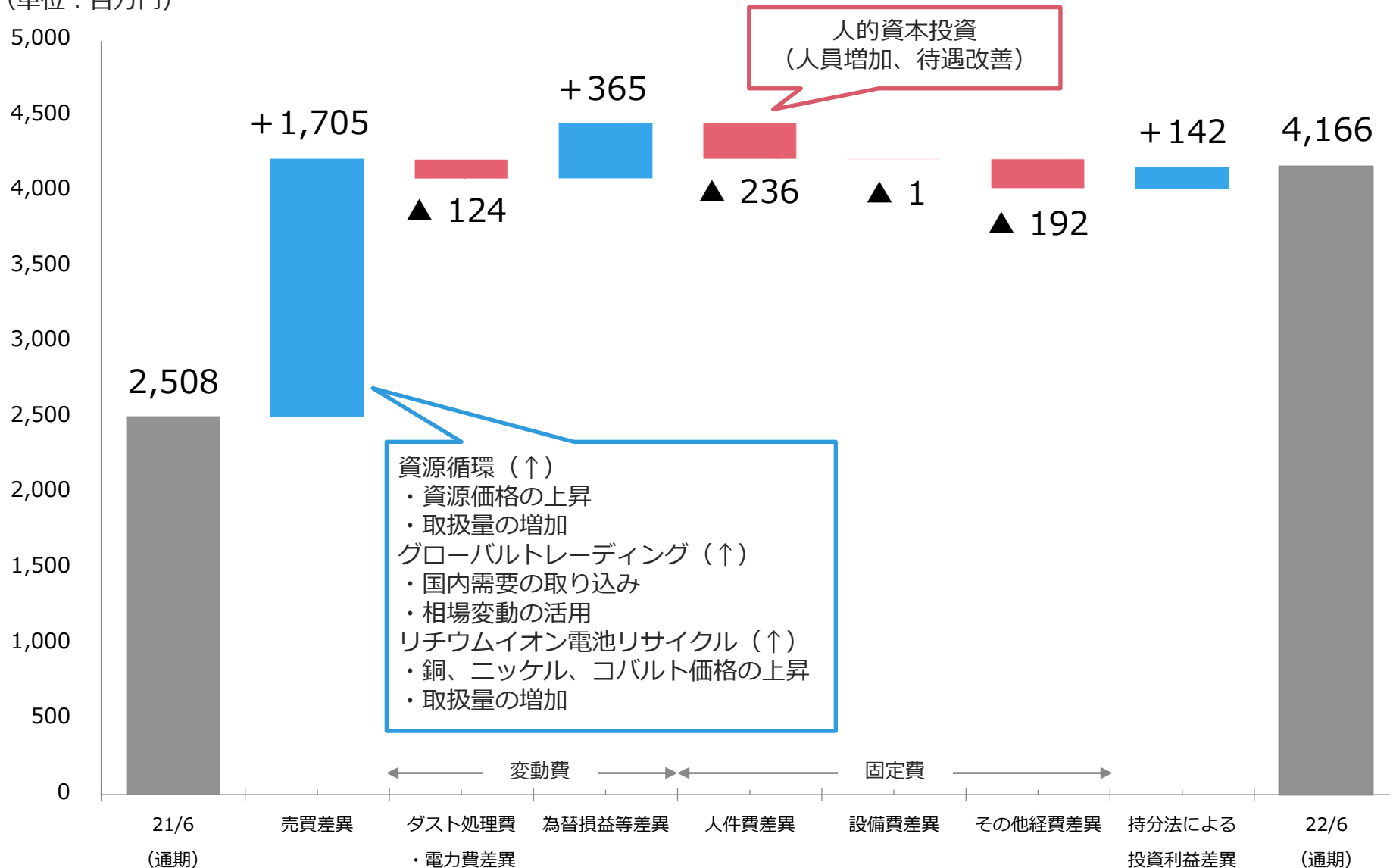
- コロナ禍からの経済活動持ち直しの傾向も、海上運賃の高騰や半導体不足等による製造業の減産が継続
- 海外情勢が刻々と変化中、国内外の金属スクラップの需給は不安定に推移
- 脱炭素社会への動きに関連して、CO₂排出低減効果からリサイクル資源活用の評価が向上
- リチウムイオン電池リサイクル事業は、ニッケル・コバルト価格の上昇及び大手電池メーカー等からの仕入量増加に加え、集荷・生産・分析・販売体制の整備が進捗
- 新工場建設が進捗（静岡県富士市、2022年9月竣工予定、総投資額 約18億円）

*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益
（金額、数量は切り捨て表示：％は四捨五入表示）

決算概要 ▶ 連結経常利益差異分析（前期比）



(単位：百万円)



(単位：百万円)

		2021年 6月期	2022年6月期			
		実績	実績	前期比		構成比
				増減額	増減率	
資源循環事業	売上高	14,216	20,397	6,180	43.5%	31.3%
	セグメント利益	2,080	2,752	672	32.3%	61.2%
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鉄スクラップ、非鉄金属の平均価格は前期を上回って推移 ■ 物理的選別技術を背景とした資源リサイクルの収益性の向上 ■ 大型解体物件から排出される鉄スクラップ取扱量の増加 ■ 新工場建設が進捗（静岡県富士市、2022年9月竣工予定、総投資額 約18億円） 					
グローバル トレーディング事業	売上高	31,033	42,989	11,956	38.5%	65.9%
	セグメント利益	711	1,147	435	61.2%	25.5%
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外情勢が刻々と変化中、国内外の金属スクラップの需給は不安定に推移 ■ 輸送用コンテナ不足等を背景とする配船難による海上運賃高騰の継続 ■ 取扱量減少も国内需要の取り込み及び価格変動を活用した販売により収益を確保 ■ 円安進展による為替差益により収益が増加 					

(単位：百万円)

	2021年 6月期	2022年6月期				
		実績	実績	前期比		構成比
				増減額	増減率	
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	356	1,347	990	277.8%	2.1%
	セグメント利益	▲ 80	478	558	-	10.6%
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 銅、アルミ、ニッケル、コバルトの平均価格は前期を上回って推移 ■ 大手電池メーカーからの仕入や処分業許可を活用した廃電池の処理受託による取扱量の増加 ■ ブラックマス*生産量の増加 ■ 前期に実施した固定資産の減損損失による減価償却費減少に伴う収益の増加 					
その他	売上高	354	443	88	25.0%	0.7%
	セグメント利益	84	120	36	43.4%	2.7%
	<p>《環境経営コンサルティング事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ C D P 評価向上支援、カーボンニュートラル戦略立案及びT C F D 対応支援、サーキュラーエコノミー等のコンサルティングの堅調な受注により収益を確保 <p>《障がい福祉サービス事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 報酬改定による収益性の悪化及び待遇改善による人件費の増加 ■ 就労移行支援事業所一部閉鎖に伴う利用者の減少 					

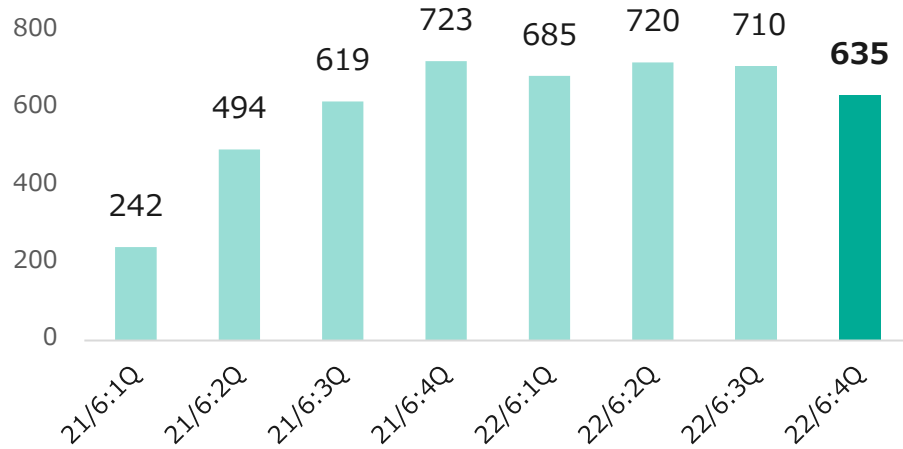
*ブラックマス：カーボンが含有されているコバルト、ニッケルの濃縮滓

決算概要 ▶ セグメント利益四半期推移

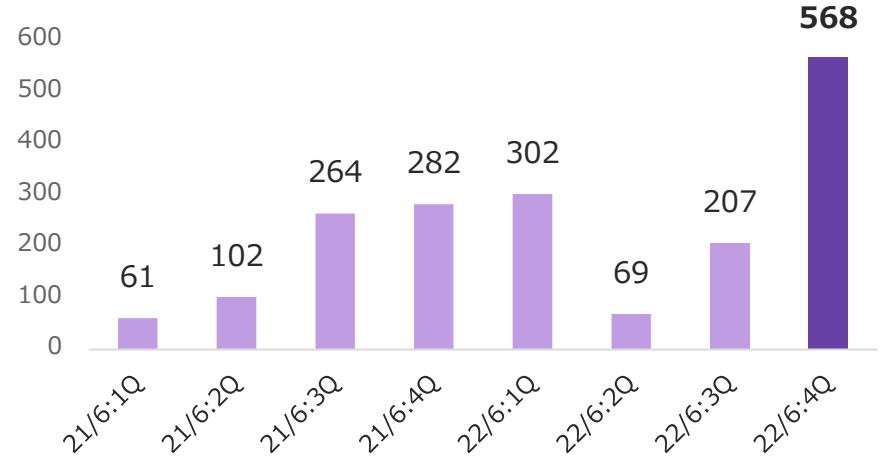


(単位：百万円)

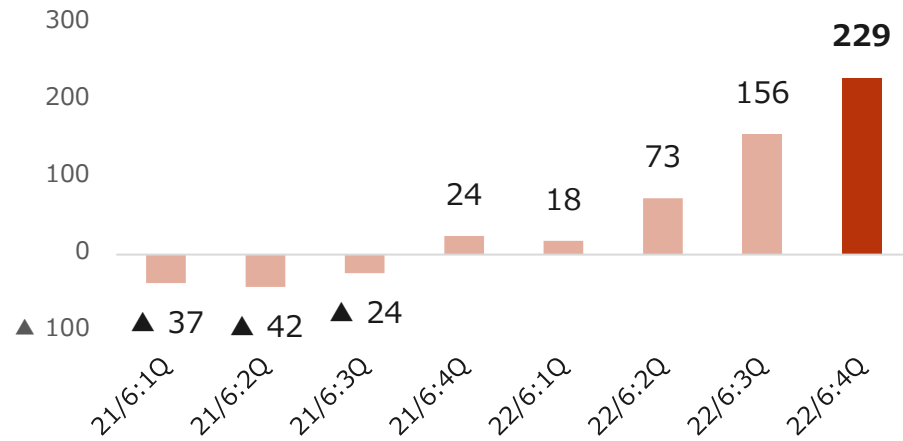
資源循環事業



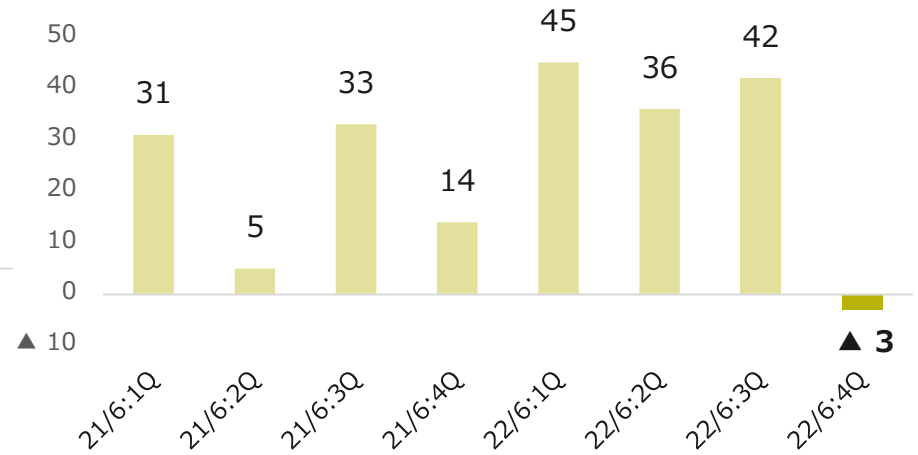
グローバルトレーディング事業



リチウムイオン電池リサイクル事業



その他



(単位：百万円)

	2021年 6月末	2022年 6月末	増減額		2021年 6月末	2022年 6月末	増減額
流動資産	17,500	18,448	947	流動負債	9,765	9,968	202
固定資産	9,048	10,515	1,467	固定負債	3,450	2,776	▲ 674
（有形固定資産）	6,119	7,161	1,042	負債合計	13,215	12,744	▲ 471
（無形固定資産）	66	96	30	純資産	13,333	16,219	2,885
（投資その他の資産）	2,862	3,257	394	（自己資本）	12,959	15,808	2,849
資産合計	26,548	28,963	2,414	負債純資産合計	26,548	28,963	2,414

主要TOPICS（前期末比）

- 流動資産（現金及び預金1,798百万円、受取手形及び売掛金300百万円、商品及び製品▲1,224百万円）
- 固定資産（投資有価証券409百万円、建設仮勘定836百万円、建物及び構築物▲44百万円）
- 流動負債（短期借入金530百万円、1年内返済予定の長期借入金140百万円、支払手形及び買掛金▲419百万円）
- 固定負債（長期借入金▲700百万円）
- 自己資本比率 54.6%（2021年6月末 48.8%）

決算概要▶連結キャッシュ・フロー計算書概要



(単位：百万円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 252	3,873	4,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 15	▲ 1,404	▲ 1,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,866	▲ 765	2,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	92	83
現金及び現金同等物の増減額	▲ 3,125	1,796	4,921
現金及び現金同等物の期首残高	10,242	7,117	▲ 3,125
現金及び現金同等物の期末残高	7,117	8,913	1,796

主要TOPICS

- 営業CF：(収入) 税金等調整前当期純利益4,176百万円、棚卸資産の減少額1,065百万円、減価償却費707百万円
(支出) 法人税等の支払額1,005百万円、持分法による投資利益523百万円、仕入債務の減少額426百万円
- 投資CF：(収入) 有形固定資産の売却29百万円
(支出) 有形固定資産の取得1,243百万円
- 財務CF：(収入) 短期借入金の増加額530百万円、長期借入金の借入135百万円
(支出) 長期借入金の返済874百万円、配当金の支払額369百万円

目次

1. 2022年6月期 決算概要

2. 2023年6月期 見通し

3. 配当方針

4. 中期経営計画

5. 参考資料

連結業績予想

売上高	55,000百万円	(前期比	4.0%減)
営業利益	2,500百万円	(前期比	25.2%減)
経常利益	2,900百万円	(前期比	30.4%減)
当期純利益*	2,030百万円	(前期比	34.7%減)

業績予想の前提条件

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
45,000円/ t	1,050円/kg	7,000円/g	85,000円/kg	2,650円/kg	7,000円/kg	125円/USD

主要TOPICS

- 資源価格及び為替の前提条件は、足元の相場に基づき予想
- 景気動向は不透明ながらも脱炭素に向けた動きの中で、リサイクル原料への需要は一層高まるものと予想
- 金銀滓*回収量の増加、処理能力の増強
- 広域の解体・片付け案件の取り組み強化
- 輸出・輸入・三国間貿易と集荷ヤードの拡大
- リチウムイオン電池リサイクル事業の既存工場拡張、湿式製錬事業の調査推進
- 企業理念の浸透、環境整備、安全管理、人的資本への積極的な投資等による内部体制強化

*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

*金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

見通し▶2023年6月期 連結業績



(単位：百万円)

	2022年6月期	2023年6月期		
	実績	予想	前期比	
			増減額	増減率
取扱量 (千 t)	706	800	93	13.2%
売上高	57,319	55,000	▲2,319	▲4.0%
売上総利益	10,628	10,180	▲448	▲4.2%
営業利益	3,343	2,500	▲843	▲25.2%
経常利益	4,166	2,900	▲1,266	▲30.4%
税金等調整前当期純利益	4,176	2,855	▲1,321	▲31.6%
当期純利益*	3,111	2,030	▲1,081	▲34.7%
限界利益*	9,968	9,670	▲298	▲3.0%
EBITDA*	4,042	3,467	▲575	▲14.2%
純粹固定費*	6,325	7,138	813	12.9%
ROE	21.6%	12.3%	▲9.3%	▲43.0%

*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

*限界利益 = 売上高 - 変動費

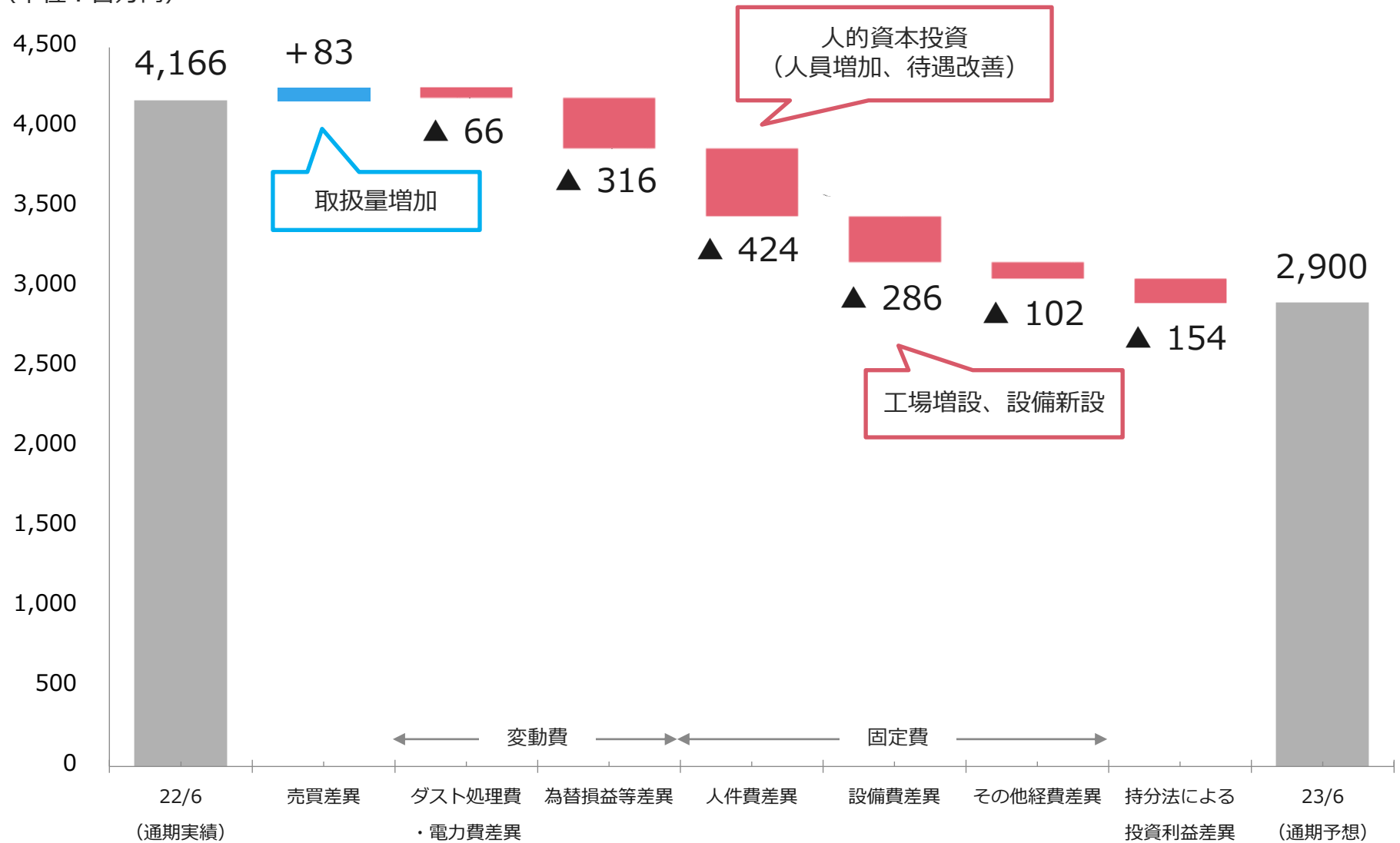
*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

*純粹固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

見通し▶連結経常利益差異分析（前期比）



(単位：百万円)



見通し▶2023年6月期 セグメント別業績



(単位：百万円)

売上高	2022年6月期		2023年6月期		
	実績	予想	前期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	57,319	55,000	▲2,319	▲4.0%	100.0%
資源循環事業	20,397	19,550	▲847	▲4.2%	31.2%
グローバルトレーディング事業	42,989	41,300	▲1,689	▲3.9%	65.9%
リチウムイオン電池リサイクル事業	1,347	1,300	▲47	▲3.5%	2.1%
その他	443	488	45	10.2%	0.8%
調整額	▲7,857	▲7,638	219	—	—

セグメント利益	2022年6月期		2023年6月期		
	実績	予想	前期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	4,166	2,900	▲1,266	▲30.4%	100.0%
資源循環事業	2,752	2,285	▲467	▲17.0%	65.6%
グローバルトレーディング事業	1,147	960	▲187	▲16.3%	27.6%
リチウムイオン電池リサイクル事業	478	128	▲350	▲73.3%	3.7%
その他	120	110	▲10	▲9.0%	3.1%
調整額	▲332	▲583	▲250	—	—

目次

1. 2022年6月期 決算概要

2. 2023年6月期 見通し

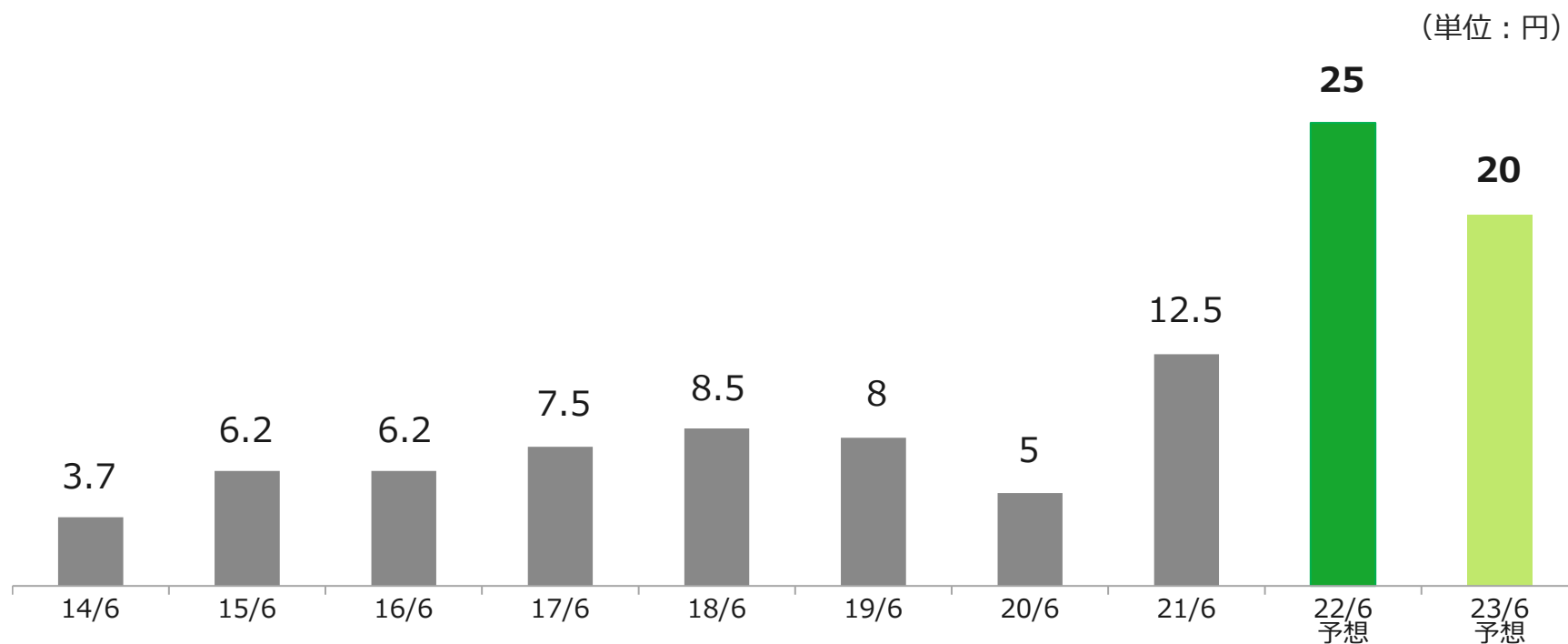
3. 配当方針

4. 中期経営計画

5. 参考資料

当社の配当基本方針

- 内部留保等を総合的に勘案しながら長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 20～30%を目標とする。
- 連結配当性向に基づく配当金が年間 5円を下回る場合にも、年間 5円の安定配当を目指す。



*2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。
2022年4月20日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。
1株当たり配当金は2014年6月期以前から上記の株式分割が行われたと仮定して算定しています。

目次

1. 2022年6月期 決算概要
2. 2023年6月期 見通し
3. 配当方針
- 4. 中期経営計画**

5. 参考資料

企業理念

「創業企業」「循環企業」「求道企業」

エンビプロ・ホールディングスが最も大切にする価値観でありDNA
[時間軸無し]

ミッション

「持続可能社会実現の一翼を担う」

エンビプロ・ホールディングスが現在世の中に存在する意義であり、一定の時間軸での目的・志
[2050年までの30年間]

戦略コンセプト

「脱炭素社会」「循環型社会」「分散型社会」実現に向けた
課題解決を事業機会としてチャレンジしていく

事業コンセプト

サーキュラーエコノミーの
具体的な事例の実現

組織のイメージ

創発的能力を備えた
自律した個人の規律ある集団

長期トレンド

GX

グリーントランスフォーメーション

DX

デジタルトランスフォーメーション

中期・短期トレンド

グリーンバリューチェーン
構築の要請

国際資源獲得競争の高まり

廃プラスチックに関連した
社会課題の表面化

非ITビジネスにおける
データ活用

IoT, AI, Robotics
活用事例の増加

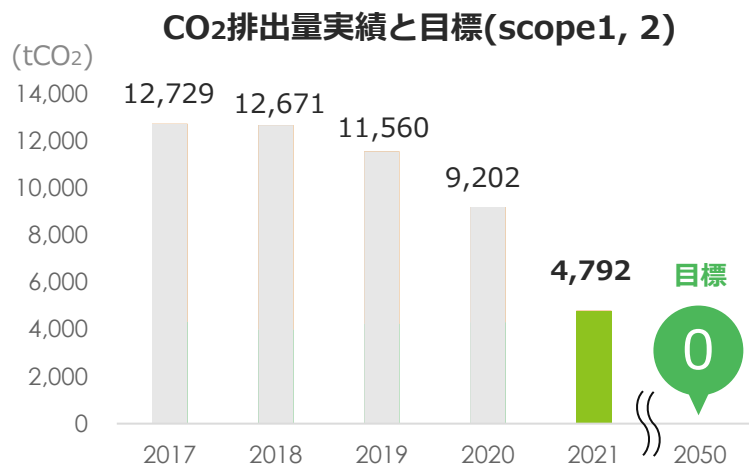
人材獲得競争の高まり

マテリアリティ
の特定

- ・ サプライチェーンにおけるグリーンマテリアルの需要増加
 - ① 電炉増設による鉄スクラップの需要増加
 - ② 電化による非鉄金属・レアメタルの需要増加
 - ③ 廃プラスチックの高度な資源循環促進
- ・ 生産プロセスにおける省人化、事業活動におけるデータ活用の促進
- ・ 事業活動を推進する人材への投資

低炭素プロセスによる地上資源由来の素材メーカーに変革 (QCDC)

Q (品質) C (コスト) D (納期) で、一流の製造業に匹敵するレベルになる
 その上で、C (カーボンニュートラル) の要素を加えた製造プロセスをつくる



再エネ率は現時点で**97%**を達成済み

→ CO₂排出量は**62%**削減 (2017-2021)

*RE100を推進し、工場のCO₂排出量の削減

低炭素プロセスによる生産 → 低炭素な原材料・燃料の供給

*RE100 : 事業運営に要する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアティブ
 当社は2018年7月にリサイクル業界として世界で初めて、RE100に加盟

中計▶サステナビリティ戦略の目標 (2023.6 – 2027.6)



売上高



経常利益



ROE

2027.6

750億円

CAGR(2023→2027) 8%

50億円

CAGR(2023→2027) 15%

13%

2023.6

550億円

29億円

12%

2022.6

573億円

41億円

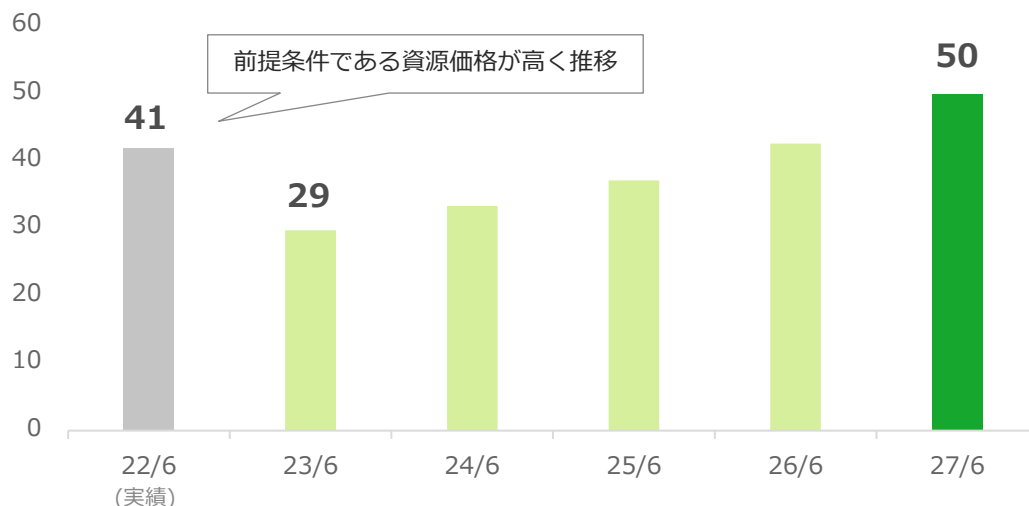
22%

前提条件 (2022年7月以降)

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
45,000円/t	1,050円/kg	7,000円/g	85,000円/kg	2,650円/kg	7,000円/kg	125円/USD

連結経常利益目標の推移

(単位：億円)



2022年6月期は資源価格が大きく上昇



利益増加に伴い、内部留保が増加



大胆な投資による成長を見越し、
中計を新たに作成

直近5年間の投資額約60億円から、今後5年間で200億円に増額



200億円



既存事業への投資

- ・ 工場の拡張
- ・ 新技術導入、DX推進
- ・ 環境整備、安全対策の強化



成長事業への投資

- ・ リチウムイオン電池リサイクル事業
- ・ プラスチックの高度リサイクル事業
- ・ 人材と知財の確保



M&A等への投資

- ・ 成長の加速
- ・ シナジー創出
- ・ 成長企業との提携

2027.6目標	
売上高	280 億円
CAGR(2023→2027)	9%
2023.6予想	195億円
-----	-----
2022.6実績	203億円

2027.6目標	
経常利益	38 億円
CAGR(2023→2027)	14%
2023.6予想	22億円
-----	-----
2022.6実績	27億円

既存事業をベースに、更なる成長のため以下の取組みを実施

① 焼却灰からの金銀滓回収と焼却灰の資源化

- ・ 落じん灰からの金銀滓回収
- ・ 主灰からの金銀滓回収と主灰の資源化
- ・ 金銀滓の湿式製錬プラント導入

② 全国広域での片付け・解体工事

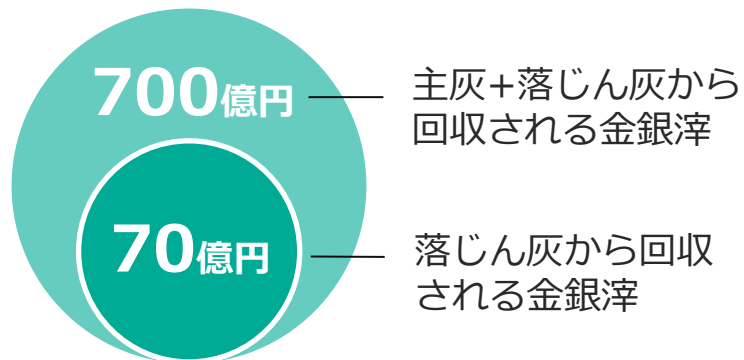
- ・ 全国広域の案件確保
- ・ 安全、技術、人的レベルの向上
- ・ 協力会社のネットワーク整備

③ プラスチックのリサイクル

- ・ 新たな技術開発促進
- ・ 新たな法整備への対応
- ・ 自治体との関係性強化

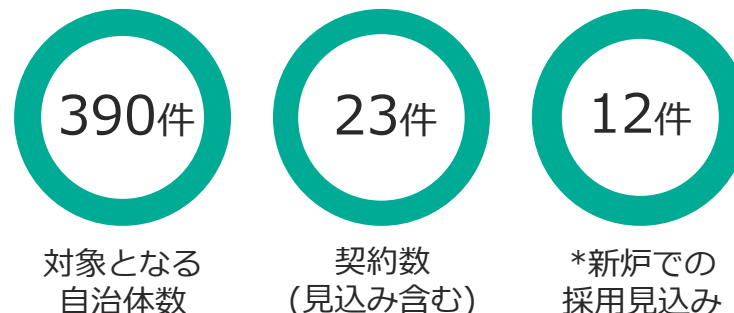
焼却灰等からの金銀滓の回収を事業の柱の1つにする

焼却灰からの金銀滓マーケット

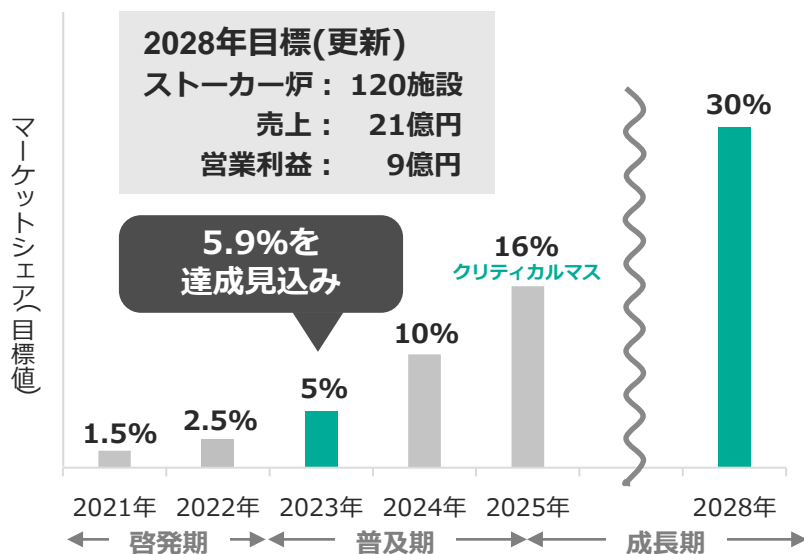


*当社調べ

落じん灰からの金銀滓回収の進捗



*落じん灰別どり仕様の新炉



*2021年2月22日決算説明資料より

金銀滓回収プラント建設 (グループ3機目)

- ・設置場所 クロダリサイクル (北海道函館市)
- ・最大処理能力 18,000 t/年
- ・総投資予定金額 約2億円
- ・稼働予定時期 2022年11月



新工場建設

- ・建設予定地 エコネコル (静岡県富士市)
- ・敷地面積 13,259㎡
- ・総投資予定金額 約18億円
- ・稼働予定時期 2023年1月



工場・プラント解体等で、物件を保有する会社及び物件情報に近い会社・団体
(金融機関、不動産会社、物流会社、メーカー) との協業モデルを拡充

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス及び
日本機械リース販売との業務提携(2021年11月12日公表)

中古機械の買取
(中古価値)

日本機械リース販売

工場の動産設備や付帯設備を一括買取

**建物解体・不要な設備などの処分を
ワンストップで解決**

スクラップ処理・買取
(資源価値)

エコネコル

不要な材料や中古価値として買取出来ない
動産についても資源価値での買取が可能

工場・設備の解体
(資源価値)

エコネコル

工場・工場内設備の一括解体・撤去により工事費用を削減
解体から発生するスクラップを資源価値にて還元

工場・設備・機械

建物や設備の解体

産業廃棄物

**資産評価を共同実施
譲渡、処分、事業再編等の意思決定支援**

事業機会の増加

資源価格上昇による
顧客廃棄費用の減少

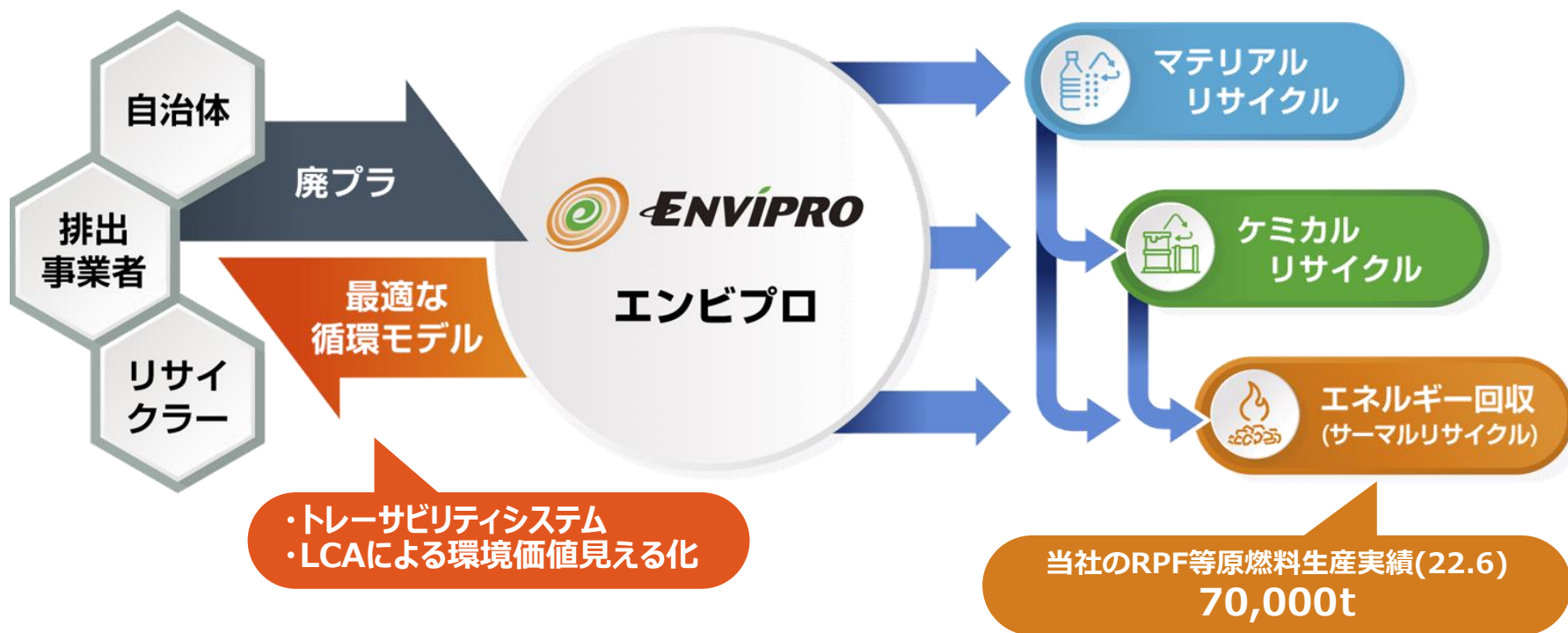
リース事業における
資産保有高の増加

脱炭素関連の設備投資
の活性化

今後の注力

- ① 金融機関等との連携強化
- ② 海上輸送による大型案件への対応
- ③ 協力会社のネットワーク整備

3つのプラスチックリサイクル手法の組み合わせによる資源循環の高度化



ソフト

- ・ CEトレーサビリティシステム開発中
- ・ CO₂排出量算定関連システム開発中

ハード

- ・ TBM横須賀リサイクルプラント (マテリアル)
- ・ ケミカルリサイクル新規事業開発中 (ケミカル)
- ・ RPFなど既存リサイクルプラント (サーマル)

2027.6目標	
売上高	520 億円
CAGR(2023→2027)	6%
2023.6予想	413億円
2022.6実績	429億円

2027.6目標	
経常利益	15 億円
CAGR(2023→2027)	12%
2023.6予想	9億円
2022.6実績	11億円

① 資源流通 取扱量の拡大

- ・国内外の鉄鋼、非鉄、その他メーカーとの連携強化
- ・輸入および三国間貿易の拡大

② 資源流通 取扱品目の拡大

- ・金属スクラップ（鉄、非鉄金属、レアメタル、電子機器、金銀滓）
- ・電池スクラップ（使用済*LIB、*BM）
- ・製紙原料、古布、雑貨、中古鋼材、バイオマス燃料等

③ リユース流通

- ・中古自動車に特化したビジネスモデルの変革
- ・分社化による物流事業の拡大

5年後の取扱量目標

54万トン → **100万**トン

(2022年6月期の取扱量実績)

1 鉄スクラップ

- ・ 国内外鉄鋼メーカーとの販売スキーム構築
- ・ 新規ヤードの開設
- ・ 新規商材の取扱増加

2 非鉄金属等

- ・ 既存ヤードを活用した非鉄取扱量の増加
- ・ 廃LIBの安全な輸入スキームの構築
- ・ 金銀滓の輸入、三国間貿易拡大

3 海外拠点開発

- ・ 欧州にリサイクル施設設立
- ・ 東南アジアにリサイクル施設設立
- ・ 海外現地法人を活用した新規事業開発

2027.6目標	
売上高	33 億円
CAGR(2023→2027)	26%
2023.6予想	13億円
2022.6実績	13億円

2027.6目標	
経常利益	2 億円
CAGR(2023→2027)	12%
2023.6予想	1.2億円
2022.6実績	4.7億円

2030年以降の市場の急拡大に向けて、以下の取組みを実施

① 集荷体制

- ・国内外で4ヶ所の*BM工場
- ・国内外同業者からのBM購入
- ・*LIBの安全な輸入スキーム構築

② 生産体制

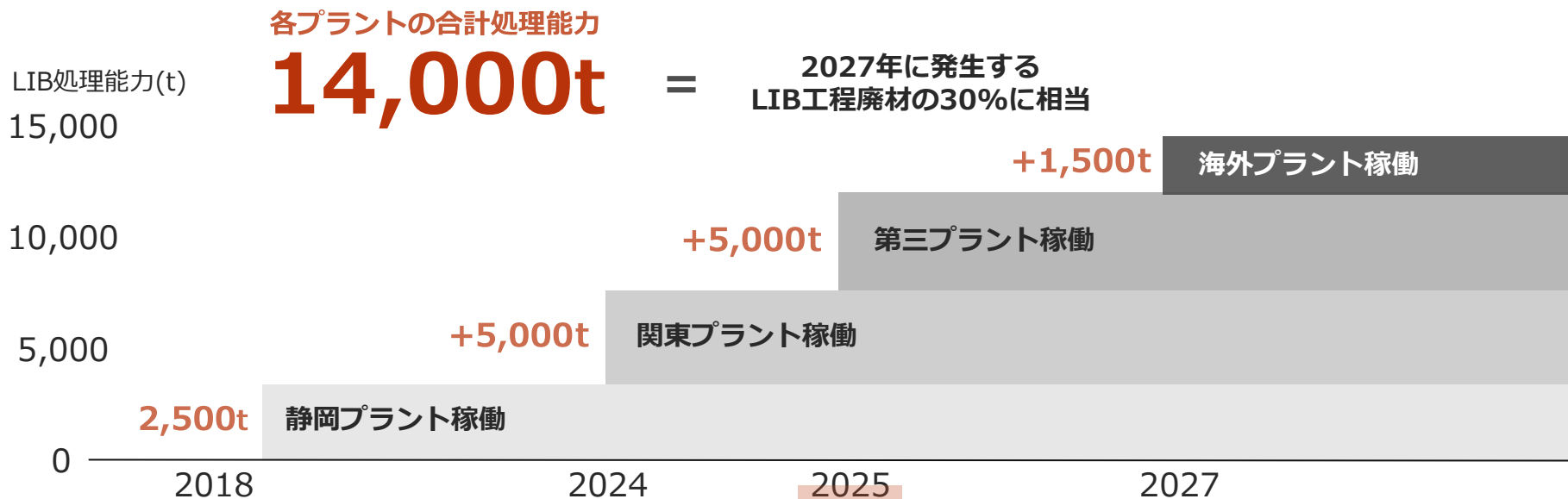
- ・分析、研究体制の充実（研究室5人→15人体制）
- ・自前のプラント設計、施工、メンテナンス体制強化
- ・化学の専門性を備えた社員の育成

③ 湿式製錬プラント

- ・既存の湿式製錬技術活用
- ・新たな湿式製錬技術のスケールアップ
- ・アライアンスの強化

*LIB: リチウムイオン電池 *BM:ブラックマス。カーボンが含有されているコバルト、ニッケルの濃縮滓

積極的な成長投資によりLIBリサイクル処理能力確保



注力ポイント

- ① 100億円規模の投資を想定
- ② BM8,000トン規模の湿式製錬プラント設置 (2025年)
- ③ 新たな湿式製錬技術の商用化により、高純度なレアメタルを低コストで抽出 (右図)



2027.6目標	
売上高	7億円
CAGR(2023→2027)	9%
2023.6予想	4.8億円
2022.6実績	4.4億円

2027.6目標	
経常利益	2億円
CAGR(2023→2027)	16%
2023.6予想	1.1億円
2022.6実績	1.2億円

持続可能社会実現に向けた、環境問題への対応と多様性の推進

環境経営コンサルティング事業



サーキュラーエコノミー
コンサルティング拡大

DX事業の推進

コンサルティング&ソリューションでサーキュラー
エコノミーの一貫サービスを提供

サーキュラーエコノミー及び、*GHG排出量可視化
システムの開発

*GHG:温室効果ガス

障がい福祉サービス事業



明日が"かがやく"ところをつくる

就労移行支援の展開

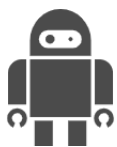
グループ内連携

就労移行支援に加え、自立支援・ひきこもり支援の事業化

障がい者雇用：20名、法定雇用率：3.8%

生産プロセスにおける省人化、事業活動におけるデータ活用の促進

スマート工場



- ・ IoTデータを収集し、異常検知
- ・ 生産工程でのロボット導入
- ・ スマート工場構築ノウハウの横展開

データ活用



- ・ 静脈産業におけるQCDのデータ化
- ・ GHG排出量の可視化、カーボンクレジット調達支援
- ・ 新拠点での収益性向上

トレーサビリティ



- ・ サーキュラーエコノミートレーサビリティシステム開発中
- ・ CO₂排出量算定関連システム開発中
- ・ データの可視化を活かした新規事業創出

(組織イメージ)
創発的能力を備えた自律した個人の規律ある集団



企業理念・文化
= 成長の原動力

～企業文化は戦略に勝る～
(Peter F. Drucker)

1

企業理念浸透への執念

2

明るく開放的風土と喜びの文化

3

相互信頼と主体的学習

4

ビジョン共有とチャレンジ精神

5

愚直な努力と人を大切にする心

5カ年目標
事業推進人材 **100人** の創出



HD及び、グループ各社の社長候補
事業立ち上げ、グローバル展開、ファイナンス、事業投資判断等の経験を有している人材

先端技術活用のリーダー
DX、知財管理、研究開発等の特定分野の深い専門知識を活かし、事業を推進する人材

プロジェクト推進のリーダー
対象領域における幅広い知識と多面的な視野を持ち、各分野の担当者をまとめ上げる人材

採用

理念による採用ブランディング

- ・成長とビジョンの訴求
- ・ポテンシャル採用
- ・経営陣直下の迅速な採用決定

育成

挑戦できる環境

- ・果敢な挑戦と失敗を容認する文化
- ・グループ横断企画へのアサイン
- ・経営陣直下のプロジェクト組成

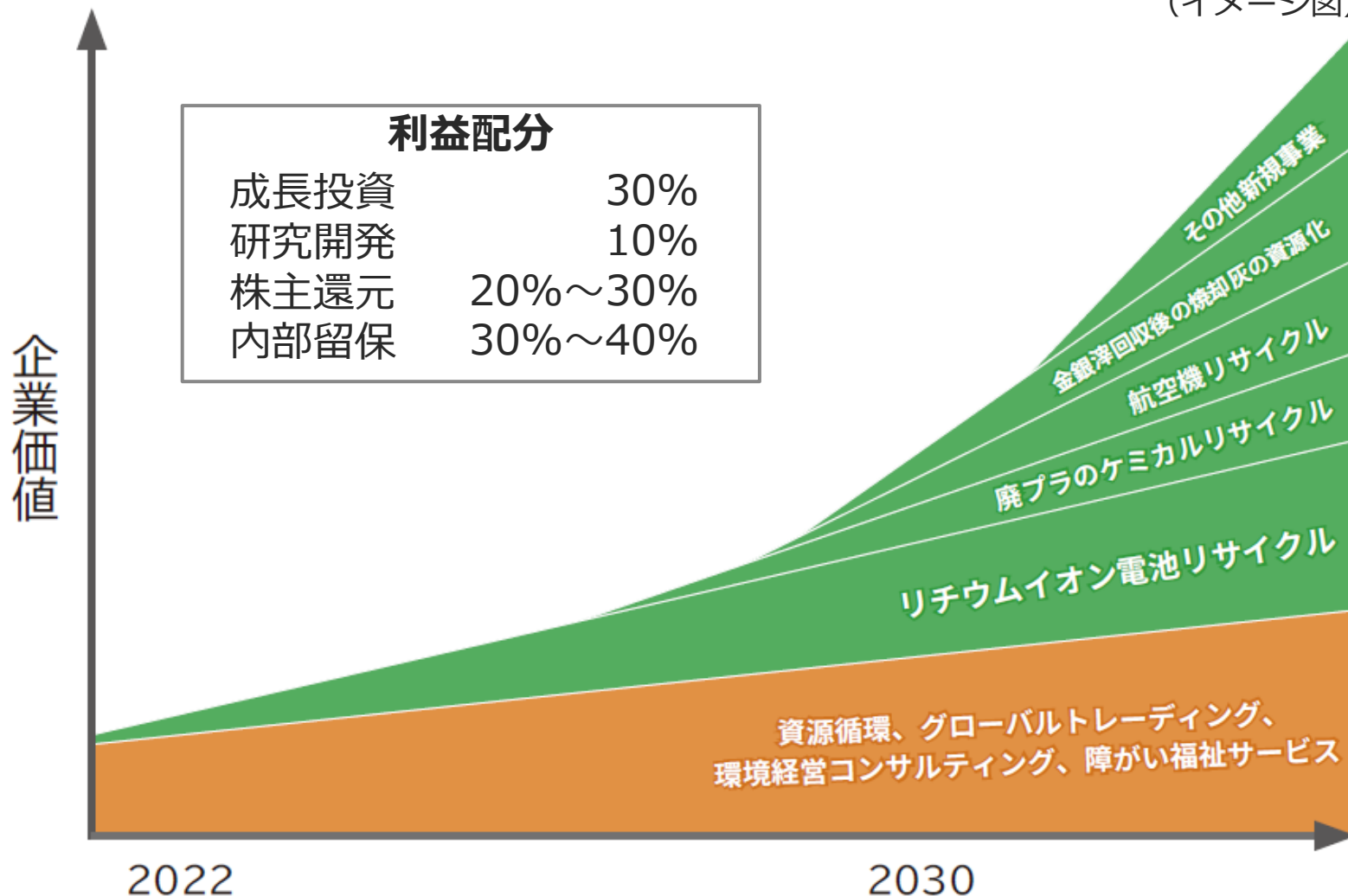
定着

エンゲージメント向上施策

- ・柔軟なポジション変更
- ・ベースアップ、賞与増額、株式報酬
- ・経営陣との活発な対話、議論

既存事業の深化または撤退、成長分野への積極的投資及び新規事業の探索で
事業ポートフォリオを最適化する

(イメージ図)



目次

1. 2022年6月期 決算概要
 2. 2023年6月期 見通し
 3. 配当方針
 4. 中期経営計画
 5. **参考資料**
-



会社名 株式会社 エンビプロ・ホールディングス
(英文名:ENVIPRO HOLDINGS Inc.)

代表 代表取締役社長 佐野 富和

設立 2010年5月21日

資本金 15億2,483万656円

事業内容 傘下事業会社の経営管理、ならびにそれに付帯する業務

グループ会社 連結子会社13社(孫会社含む)、持分法適用会社2社

所在地 本社
〒418-0075 静岡県富士宮市田中町87番地の1
TEL:0544-21-3160 FAX:0544-21-3163

東京事務所
〒104-0033 東京都中央区新川一丁目23番5号
SHINKAWA EAST 2F
TEL:03-6280-3938 FAX:03-6280-3937



グループ会社紹介

株式会社 エコネコ
金属やプラスチック、廃棄物のリサイクルを中心とした資源循環事業を展開。

〒418-0111
静岡県富士宮市山宮3507番地の19
TEL:0544-58-5800 FAX:0544-58-5807

株式会社 クロダリサイクル
創業者の「目のたったひとつのものをおろそかにしない」理念を追求する、地域に密着したリサイクル事業を展開。

〒041-0824
北海道函館市西栢根町246番地27
TEL:0138-49-8880 FAX:0138-49-8960

株式会社 しんえこ
「もったいないBOX」「かたづけ隊」など地域に密着したリサイクル事業を展開。障がい者雇用優良事業所としての受賞歴もあり。

〒390-0852
長野県松本市島立2346
TEL:0263-47-3211 FAX:0263-47-3213

株式会社 東洋ゴムチップ
半世紀にわたりゴム工業資源の有効活用を行う再生ゴムのバイオニア企業。幅広い用途開発を行い、各種施設の安心・安全に貢献。

〒371-0215
群馬県前橋市粕川町深津1573番地
TEL:027-285-3131 FAX:027-230-6008

株式会社 NEWS&ON
「世界を身近にする会社」を目指し、鉄スクラップや非鉄、バイオマス燃料などの資源をグローバルに流通・販売し、国際的な資源循環に貢献。

〒105-0003
東京都港区西新橋1丁目16の3
第1東洋海事ビル4階
TEL:03-3502-1022 FAX:03-3502-1024

株式会社 3WM
日本の高品質な中古自動車や部品を世界に供給。中古部品の国際間流通も行い、中古自動車・部品の世界規模でのリユースを促進。

〒455-0036
愛知県名古屋港区港区浜二丁目3番5号
築港ビル2F
TEL:052-659-5200 FAX:052-659-5208

株式会社 VOLTA
リチウムイオン電池、ニッケル水素電池からニッケル・コバルトなどの希少金属を回収・再資源化。使用筐体のリサイクル事業も展開。

〒418-0111
静岡県富士宮市山宮3507番地の19
(株式会社エコネコ内)
TEL:0544-66-3132 FAX:0544-66-3133

株式会社 アストコ
障がいのある方がご自分に合った職に就き自立できるよう、知識・技能の修得、生活の安定や社会との関わり方を身につけるサポート事業を展開。

〒390-1241
長野県松本市新村2932-15
TEL/FAX:0263-31-6098

株式会社 ブライトイノベーション
環境戦略やCO₂削減戦略の立案などをサポートとするコンサルティングサービスと、再エネ導入などのソリューション提案を行う事業も展開。

〒104-0033
東京都中央区新川一丁目23番5号
SHINKAWA EAST 2F
TEL:03-6280-3936 FAX:03-6280-3937

株式会社 アビズ
株式会社ユー・エス・エスの合併事業。廃自動車などの廃棄物の破碎・選別処理を行い資源に還元する、独自システムのリサイクル事業を展開。

〒455-0026
愛知県名古屋港区昭和町14番地24
TEL:052-619-6600 FAX:052-619-6601

株式会社 富士エコサイクル
株式会社富士通ゼネラルを含む家電メーカー5社との合併事業。環境と経済が両立した循環型社会をつくるための家電リサイクル事業を展開。

〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川11930番地4
TEL:053-523-1152 FAX:053-523-1153

- 資源循環事業
 - グローバルトレーディング事業
 - リチウムイオン電池リサイクル事業
 - 障がい福祉サービス事業
 - 環境経営コンサルティング事業
- 連結子会社
■ 持分法適用関連会社

資源循環事業

廃棄物や資源物のリユース・リサイクル・リマニュファクチャリングを進めることで、限られた資源の有効活用と廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物から再生原材料を製造し、新たな価値を世の中に提供します。

- 株式会社 エコネコル
- 株式会社 クロダリサイクル

- 株式会社 しんえこ
- 株式会社 東洋ゴムチップ

持分法適用関連会社

- 株式会社 アビツ
- 株式会社 富士エコサイクル

グローバルトレーディング事業

国内外で発生する金属スクラップその他資源物を、多国間で流通させると共に、日本製中古車や中古車部品などをグローバル市場に展開しています。

- 株式会社 NEWSCON
- 株式会社 3WM

その他事業

障がいのある方の就業や地域生活などにおける自立支援をサポートする障がい福祉サービス事業と企業の環境戦略・CO₂削減計画の支援などを行う「環境経営コンサルティング事業」を展開しています。



障がい福祉サービス事業

- 株式会社 アストコ



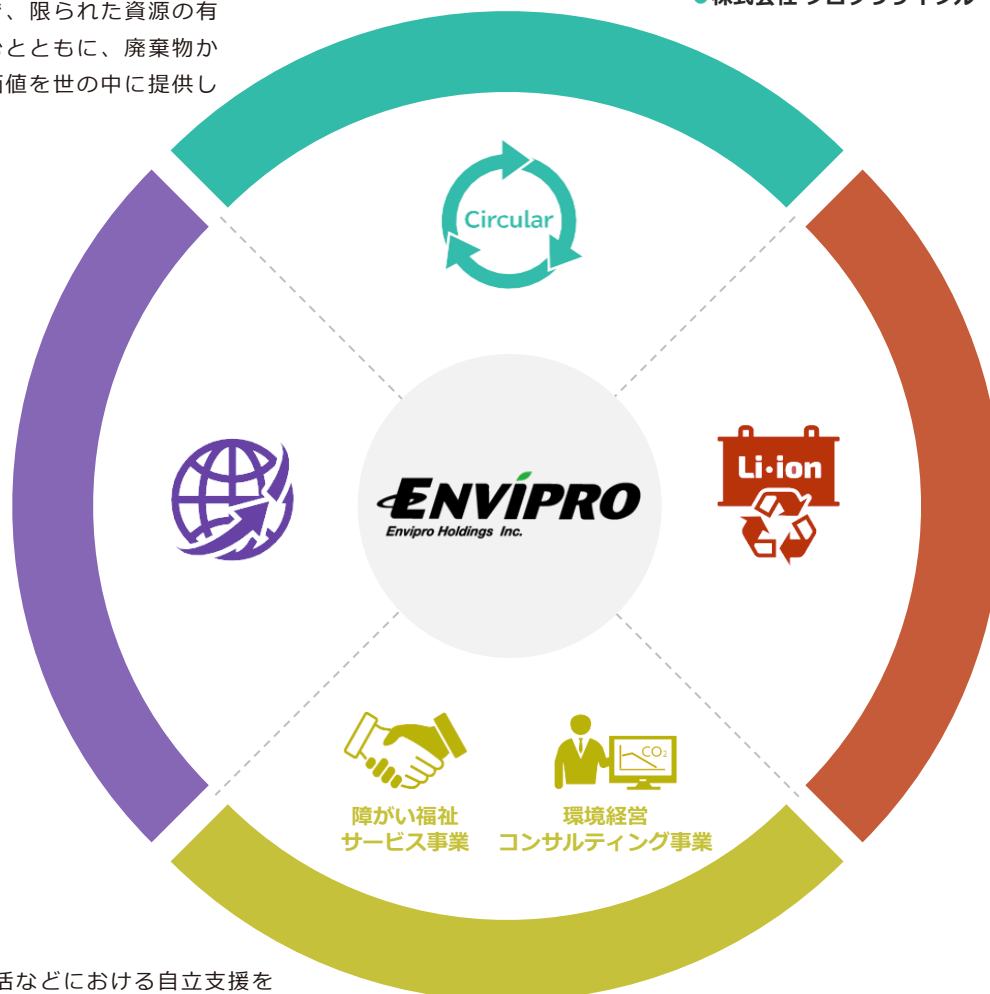
リチウムイオン電池リサイクル事業

リチウムイオン電池をはじめとする充電式電池のリサイクルを通して、ニッケル・コバルトなどのレアメタル(希少金属)の資源循環システムの確立および限りある資源の有効活用に貢献しています。

- 株式会社 VOLTA

環境経営コンサルティング事業

- 株式会社 ブライトイノベーション

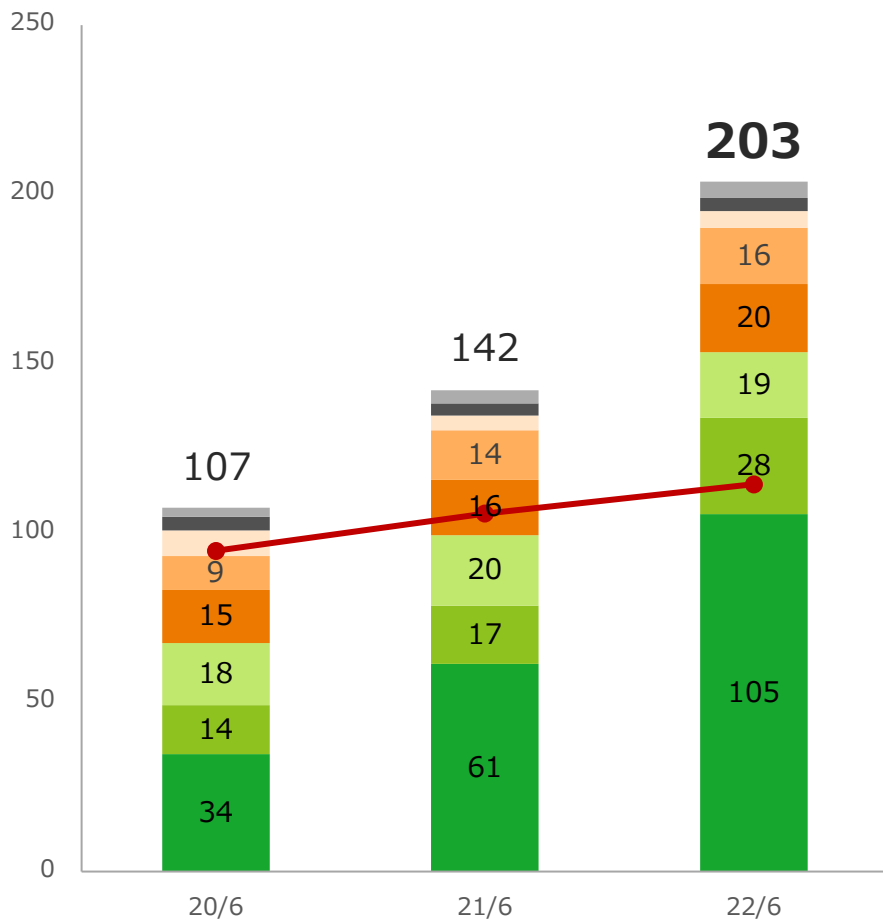


資源循環事業
品種別売上高・合計取扱量

- 鉄
- 非鉄金属
- 逆有償
- ゴム製品
- 金銀滓
- 解体・片付け等
- RPF,製紙原料等
- その他
- 取扱量

(単位：億円)

(単位：千 t)

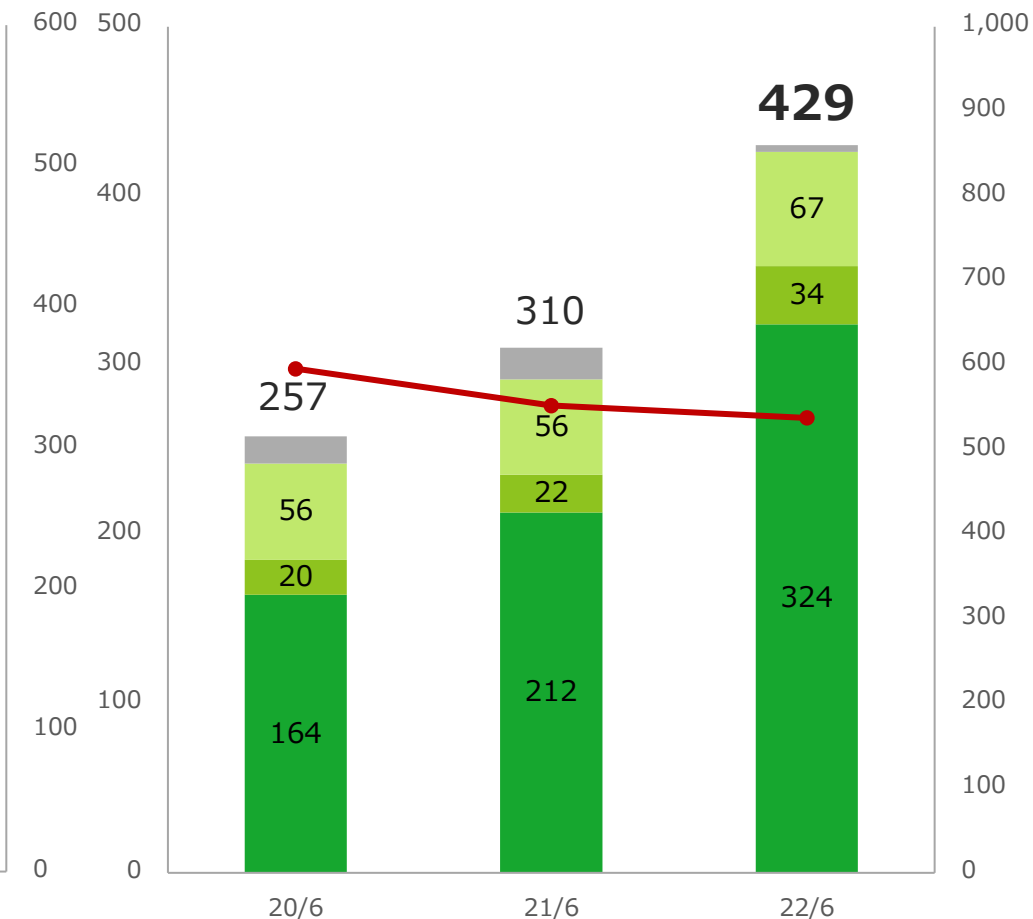


グローバルトレーディング事業
品種別売上高・合計取扱量

- 鉄
- 非鉄金属
- 中古自動車
- その他
- 取扱量

(単位：億円)

(単位：千 t)



品種別取扱量

(単位：千 t)

品目	2021年 6月期	2022年 6月期	増減率
鉄	578	588	1.9%
非鉄金属	21	17	▲16.4%
金銀滓※	3	3	4.4%
ゴム製品	10	12	26.2%
RPF等燃料、製紙原料等	57	56	▲1.1%
ブラックマス等※	0.6	0.8	49.0%
その他	20	26	34.8%
合計	693	706	1.9%

(単位：k g)

品目	2021年 6月期	2022年 6月期	増減率
金回収量	71	61	▲14.1%
銀回収量	1,244	1,071	▲13.9%

地域別売上高

(単位：億円)

地域	2021年 6月期	2022年 6月期	増減率	
日本	179	296	65.5%	
東アジア	韓国	73	118	61.3%
	台湾	13	14	11.5%
	その他	8	8	1.6%
東南アジア	ベトナム	94	97	3.3%
	その他	22	9	▲56.9%
南アジア	インド他	2	6	112.1%
西アジア	UAE他	5	8	67.7%
南米	チリ他	7	9	20.8%
アフリカ	ウガンダ他	2	2	▲16.4%
その他	-	0	2	-
合計	409	573	40.0%	

※金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

※ブラックマス：カーボンが含有されているコバルト、ニッケルの濃縮滓

参考資料▶セグメント別四半期業績推移



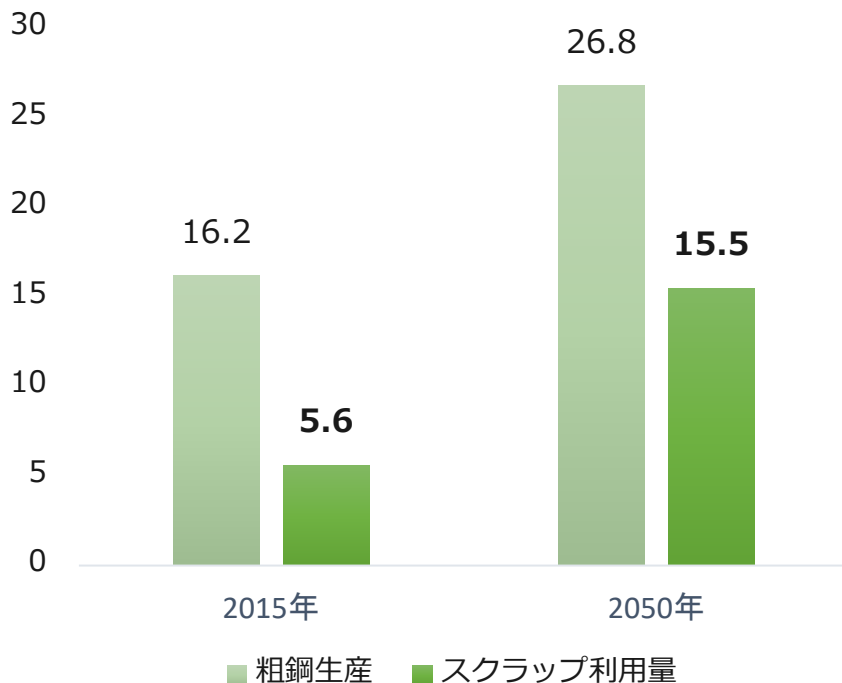
(単位：百万円)

セグメント	2021年6月期						2022年6月期						
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	構成比	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	構成比	
資源循環事業	売上高	2,795	3,194	3,730	4,496	14,216	30.9%	4,762	5,129	5,130	5,374	20,397	31.3%
	経常利益	242	494	619	723	2,080	74.4%	685	720	710	635	2,752	61.2%
	経常利益率	8.7%	15.5%	16.6%	16.1%	14.6%	-	14.4%	14.0%	13.9%	11.8%	13.5%	-
グローバル トレーディング事業	売上高	5,356	6,914	7,558	11,204	31,033	67.5%	11,109	9,123	9,743	13,012	42,989	65.9%
	経常利益	61	102	264	282	711	25.4%	302	69	207	568	1,147	25.5%
	経常利益率	1.2%	1.5%	3.5%	2.5%	2.3%	-	2.7%	0.8%	2.1%	4.4%	2.7%	-
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	62	62	68	162	356	0.8%	147	229	409	561	1,347	2.1%
	経常利益	▲37	▲42	▲24	24	▲80	▲2.9%	18	73	156	229	478	10.6%
	経常利益率	▲59.6%	▲68.0%	▲35.3%	15.0%	▲22.4%	-	12.9%	32.2%	38.3%	40.8%	35.5%	-
その他	売上高	94	71	100	86	354	0.8%	127	116	123	75	443	0.7%
	経常利益	31	5	33	14	84	3.0%	45	36	42	▲3	120	2.7%
	経常利益率	32.8%	8.2%	33.0%	16.3%	23.8%	-	35.9%	30.9%	34.5%	▲4.6%	27.3%	-
調整額	売上高	▲870	▲1,066	▲1,198	▲1,891	▲5,026	-	▲1,853	▲1,649	▲2,034	▲2,320	▲7,857	-
	経常利益	▲81	▲63	▲138	▲3	▲287	-	▲130	▲60	▲110	▲30	▲332	-
	経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結	売上高	7,439	9,176	10,259	14,058	40,933	100.0%	14,292	12,950	13,372	16,703	57,319	100.0%
	経常利益	216	496	754	1,040	2,508	100.0%	921	838	1,007	1,399	4,166	100.0%
	経常利益率	2.9%	5.4%	7.3%	7.4%	6.1%	-	6.4%	6.5%	7.5%	8.4%	7.3%	-

※セグメント利益は経常利益で記載をしております。

世界の鉄鋼生産予測 粗鋼生産：スクラップ利用量

(単位：億 t)



出所：一社) 日本鉄鋼連盟「長期温暖化対策ビジョン (鉄鋼蓄積並びに鉄鋼生産等推移想定)」
2018年11月19日公表 より引用して抜粋 (抜粋した数値を基に当社グラフ作成)

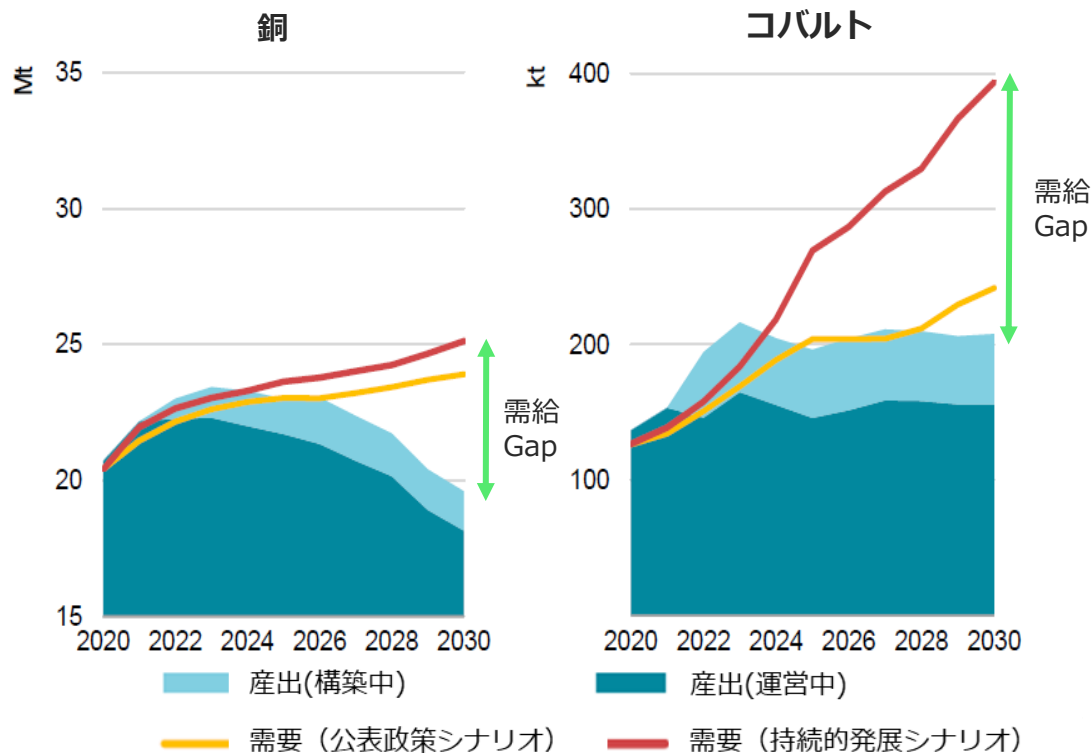
高炉に比較して製造プロセスのCO₂排出量が1/4である電炉では、エネルギー源が電力であるため供給する電力を再エネにすればカーボンニュートラルを実現

出所：環境省HP「中長期ロードマップ小委員会 (第5回) 議事録」

高炉メーカーの大型電炉設備の新設、転炉での鉄スクラップ混合率の上昇

脱炭素化の社会では、鉄スクラップ (グリーンマテリアル) 需要の拡大が見込まれる

■クリーンエネルギー技術の普及による非鉄金属・レアメタルの需給ギャップ

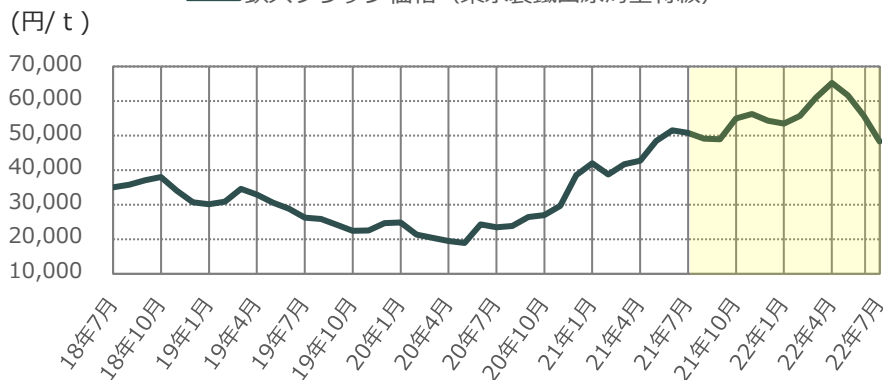


需給ギャップが増大する事が予測され、これらの非鉄金属・レアメタル価値は高値安定で推移することが見込まれる

出所：IEA World Energy Outlook Special Report 「The Role of Critical Minerals in Clean Energy Transitions」
日本語訳：当社

脱炭素化の加速は都市鉱山からの非鉄金属・レアメタルの二次原料（グリーンマテリアル）需要をより一層拡大させる

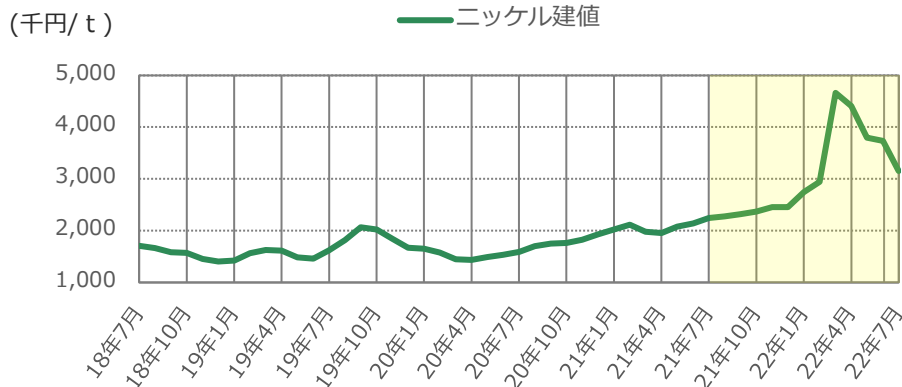
鉄スクラップ価格（東京製鐵田原海上特級）



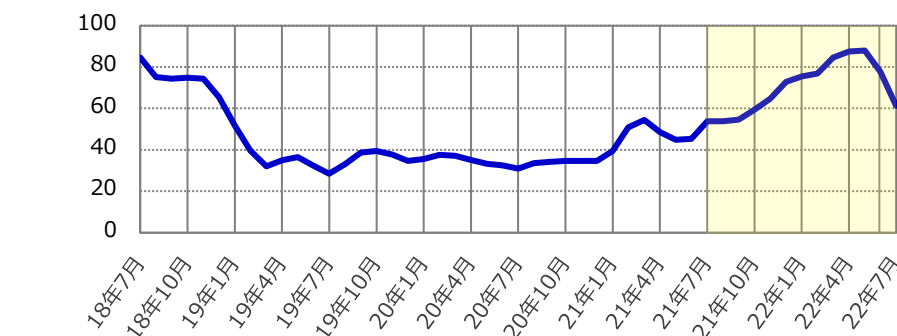
電気銅建値



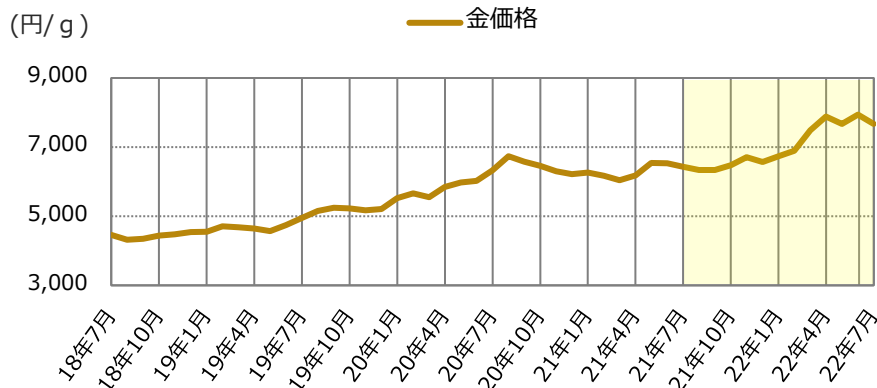
ニッケル建値



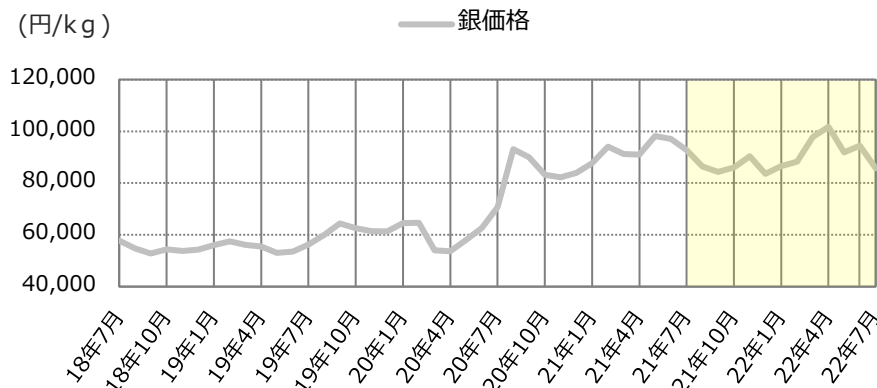
コバルト建値



金価格



銀価格



(出所) 東京製鐵(株)、日刊産業新聞

(出所) J X 金属(株)、IRuniverse(株)

本資料及び発表に関する注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。



本資料及びIRに関するお問い合わせ先

株式会社エンビプロ・ホールディングス
経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>